

令和5年度第1回 柏市文化財保護委員会 会議録

◇開催日時

令和5年8月28日(月) 13時30分～15時

◇開催場所

柏市上下水道局 401会議室

◇出席者

(委員)

藤井会長、塩澤副会長、倉田委員、萩原委員、金出委員、井上委員、
菊池委員、石神委員、西野委員

(事務局)

宮島生涯学習部長、田口文化課長、
黒須副参事、江藤担当リーダー、高城主査、谷口主事、
蔵野主事、田中主事

1 開会

2 教育委員会挨拶

3 報告

- (1) 令和4年度・5年度主要事業報告
- (2) 「篠籠田の獅子舞」文化財調査
- (3) 「旧西部消防署根戸分署」の登録申請について
- (4) 柏市文化財保存活用地域計画について

4 議題

- (1) 文化財の指定・登録の推進について

3 報告

- ・報告事項について、事務局から説明を行い、各委員から補足説明をいただいた。

●補足説明

- (1) ク. 建造物調査事業について

- ・(ア) 建造物調査

現代の寺院建築を調査することとなった経緯は、地域計画の調査で市内の建物

を確認した際、団地や小学校の建築，寺院の本堂建て替えが1964年の東京オリンピック前後に行われていることに気づいたのが始まりである。

これまで、柏市における現代建築は注目されていなかったため、今後、地域計画において注目するものの一つとなるという期待があり、現代建築を調査したいと考えている。

今年度は、特に注目したい建物のうち3，4件を調査する予定である。

- ・（イ）柏飛行場調査

陸軍柏飛行場は、昭和13年に高射砲第二連隊とともに造られた。飛行場跡地は開発が行われ、現在は柏の葉地区となっている。

今後、柏歴史クラブの協力を得て、これまでの調査成果をまとめた報告書2冊を作成する予定である。

- ・（１）カ、布瀬鴨猟記念碑・百庚申の保存修理工事について【資料３】

キ、岩井石造物の保存修理工事について【資料４】

- ・カ、布瀬鴨猟記念碑・百庚申の保存修理工事について

コンクリートの基礎が見えないよう打設し、石碑の下部に穴をあけ、金具を入れて支えるという方法を検討している。

庚申塔は土手の上に建っており、根が多く現状の場所に据え直すのは難しいため、既存の百庚申の横に並べて移設する方法をとる。

- ・キ、岩井石造物の保存修理工事について

手前の２基は道標で、奥の石造物群とは性格が違う。

道標は車道に近いため、向きはそのままに手前の２基は後ろに下げ、コンクリート基礎は打設せず、基部を現在より深く根入れして据え付け直す。後ろの３基はコンクリート基礎を打設し、アンカーで支えられるよう移設を検討する。

- 委員からの意見

布瀬百庚申・岩井石造物群については、指定可能な物件があれば候補となることや、石造物の移設工事を行う前に、元の位置を聞き取りや測量により記録した方が良いとの意見があった。

3 報告（2）「篠籠田の獅子舞」文化財調査

●補足説明

県指定の文化財であるが、詳細な調査がされていなかったため、調査事業を立ち上げることとなった。当初は映像記録のみを予定していたが、映像だけでは不明点が残る可能性があることから、まずは文字記録を作ることとした。

3 報告（3）「旧西部消防署根戸分署」の登録申請について

●補足説明

今回、機会を得て年内に国登録文化財への登録答申が得られることとなった。

現在は市民団体の柏歴史クラブが毎年建物の公開を行っており、地元に対しては歴史ある建物であることが伝わっている。登録を機に、消防署として親しまれた建物を、柏の歴史の一つとしてどう残すか考えていく体制ができればよいと考えている。

4 議題

（1）文化財の指定・登録の推進について

●調査や指定・登録の優先度、課題について各委員にご意見をいただいた。

○意見

未指定の文化財を指定・登録するにあたり、地域計画を市民の方々に周知した上で、市民の方々からの要望で文化財を指定・登録することが理想であるという意見や、未指定文化財から指定候補物件を選ぶ基準及び優先順位を決めることが必要であるという意見があった。

また、各分野の状況については、無形民俗文化財や天然記念物等消滅の危機にある物件は早急に指定を行う必要があるという意見や、考古資料や美術工芸品の指定には課題があるという意見があった。

○結果

指定・登録文化財候補物件の基準作成及び候補選定について、事務局で検討を行うこととなった

—以上で審議を終了した。—

◇傍聴者

0名